



2023年10月25日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

E501系電車を活用した新しいイベント専用車両 「E501 SAKIGAKE(さきがけ)」がデビューします！

JR東日本水戸支社では、これまで常磐線や水戸線で活躍してきたE501系電車5両編成の外装や車内設備をリニューアルしたイベント専用車両「E501 SAKIGAKE(さきがけ)」の運用を開始します。

通勤・通学で親しまれたE501系電車に新たなカラーリングと愛称に加え、車内にテーブルを設置することで、多くのイベントで活躍できる車両となりました。

常磐線・水戸線沿線を中心に、地域の魅力を楽しんでいただける時間をお届けします。

1. 車両の概要

(1) カラーリング・デザイン

紅梅・白梅をイメージさせるカラーリングにしました。
また、紅梅・白梅と刀の柄の糸巻をイメージしたデザインを取り込みました。



【車両前面イメージ】

(2) ログタイプ

刀を一字に振り払う一閃をイメージしたシャープなデザインに、光る小さな星（水戸の「水」とアスタリスク）をあしらいました。



【側面：ロゴタイプ】

(3) 車内の特徴

車内には、飲食をお楽しみいただけるようにテーブルと冷たいお飲み物を提供できるように冷蔵庫を設置しました。



【テーブルイメージ】



【シンボルマーク】



【ヘッドマーク】



【車両側面イメージ】

2. 車両の愛称

「E501 SAKIGAKE(さきがけ)」

天下に先駆けて春を伝える花として「梅は百花の魁」と言われています。徳川齊昭公により開かれた茨城県を代表する観光地「偕楽園」、「弘道館」は梅の名所であり、どちらも多くの人が集う場所です。弘道館には、齊昭公が「魁」の一字を残しています。

「E501 SAKIGAKE(さきがけ)」も時代の先駆けとして新しい企画と共に、たくさんの人が集まり、新しい体験や特別な時間を過ごせる場となるよう願いを込めて名付けました。

3. 運用開始日

2023年11月23日（木・祝）水戸線地酒列車から運用を開始する予定です。

(1) 商品概要

水戸線地酒列車は、列車にご乗車いただきながら沿線の地酒と食をお楽しみいただくイベント列車です。

今回は、水戸線の水戸駅—結城駅間で沿線を中心とした「蔵元おすすめ名酒」をテーマに地酒飲み比べやおつまみなどを堪能していただきます。実際に、蔵元に地酒の解説やおすすめポイントなどをお話しいただき、お客さまと触れ合っていただくことができる商品です。



【車内イメージ】

(2) 販売価格・募集人員

【水戸駅発—結城駅着コース】大人1名5,500円（募集人員：90名/最少催行人員：50名）

【結城駅発—水戸駅着コース】大人1名5,500円（募集人員：90名/最少催行人員：50名）

※飲酒を伴うイベントのため、20歳以上の方のみを対象とさせていただきます。

※行程に必要な運賃、日本酒、おつまみセットなどを含みます。

(3) 販売開始：2023年10月27日（金）12:30～

(4) 申込み方法：お申込みおよび商品の詳細については、以下のサイトをご確認ください。

【JRE MALL 水戸支社販売ページ】

<https://www.jreastmall.com/shop/category/category.aspx?category=I4>

4. その他

今後は、常磐線・水戸線沿線を中心に地産品をお楽しみいただくイベント列車などとして運行する予定です。